

120th Anniversary

第**206**期
営業の中間ご報告

平成27年4月1日から
平成27年9月30日まで

ミニ・ディスクロージャー誌

- トピックス
- 地域密着型金融の取り組み
- CSR活動
- 業績ハイライト



銀行をこえる銀行へ

紀陽銀行

KIYO

ごあいさつ



取締役頭取 松岡靖之

皆さまには平素より紀陽銀行をはじめ紀陽フィナンシャルグループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび「平成27年9月中間期 ミニ・ディスクロージャー誌」を作成いたしました。業績や最近の取り組み状況などをまとめておりますので、ご一読いただければ幸いに存じます。

当中間期のわが国経済は、良好な企業収益を背景に設備投資に持ち直しの動きが見られたものの、輸出の低迷や個人消費の足踏みで、回復の動きに一服感が見られました。

当行グループの主要営業基盤である和歌山県や大阪府においては、消費税増税の反動減が一巡したことにより、個人消費に持ち直しの兆しがみられるなか、和歌山県では一部に回復に向けた動きがみられたものの、公共投資に停滞感がみられ、住宅投資と生産活動や輸出などの企業部門に弱い動きがみられました。また大阪府では、住宅投資が増加傾向にあり、輸出や雇用が緩やかに改善しているものの、公共投資に弱さがみられ、生産活動は一進一退の動きが続きました。

このような中、今年度よりスタートした第4次中期経営計画のもと、お客さまの利便性向上に努めるとともに、より充実した金融商品、金融サービスの提供に注力し、業績の向上と経営体質の強化に取り組んでまいりました。これらの取り組みにより、グループの中核会社である紀陽銀行の平成27年9月中間期の業績等につきましては、収益基盤の中心となる預金・貸出金は順調に増加するとともに、損益面につきましても経常利益187億円、中間純利益は133億円となり、当初の業績予想を上回る利益を計上することができました。

当行は本年5月に創立120周年を迎えることができましたが、今後も当行が地域経済および地域社会とともに歩み、成長していくために、全役職員が一丸となって、当行グループの経営基盤の強化や地方創生への取り組みを通じた地域経済の活性化に努め、目指す銀行像である「銀行をこえる銀行へ」の実現に向けて邁進してまいります。

皆さまには、引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月

ミニ・ディスクロージャー誌
平成27年9月中間期 営業のご報告

目次

※本冊子に記載している計数は、原則として
単位未満を切り捨てて表示しています。

◆ ごあいさつ	1	◆ 新しい社会環境への対応のために	9
◆ 第4次中期経営計画	2	◆ 安心してご利用いただくために	10
◆ 創立120周年記念事業	3	◆ CSR活動	11
◆ 和歌山県での国体をサポート	4	◆ 業績ハイライト	13
◆ トピックス	5	◆ 財務諸表	15
◆ 地域密着型金融の取り組み	7	◆ ネットワーク	17
◆ 地方創生に向けた取り組み	8	◆ 株式情報	18

第4次中期経営計画

KIYO BANK 2015.09

平成36年3月期までの長期的な展望のなかで、新たに目指す銀行像を「銀行をこえる銀行へ」と定め、その実現に向けて邁進してまいります。

紀陽銀行の
目指す銀行像

「銀行をこえる銀行へ」

お客さまの期待や地域の壁をこえ、銀行という枠をこえることを目指します。

第4次中期経営計画における主要テーマ

地元地域(和歌山・大阪)の特性に応じ、明確な地域別戦略のもとで成長速度を高める

「取引先数の増加」に徹底的
にこだわる営業推進

人材育成・登用の強化等による
「成長を支える活力ある組織」づくり

「対取引先」と「対地元地域」という
2本柱による「地域活性化への貢献」

主要戦略

1 永続的に地域を支えるための経営効率向上

- ◆「預金4兆円」の早期達成
- ◆店舗チャネルと営業体制の抜本的見直し
- ◆計画的かつ積極的な新規店舗・チャネル投資 など

2 規模を利益につなげる営業推進強化

- ◆「リレバン型営業の徹底」による貸出先・貸出・収益の増強
- ◆預かり資産営業体制の強化 など

3 市場における企業評価・ブランド力の向上

- ◆大阪府内でのプロモーション強化(営業戦略)
- ◆CS向上への取り組みの更なる強化 など

4 経営管理態勢の更なる強化

- ◆コンプライアンスの徹底
- ◆大規模災害を想定した対策の強化 など

紀陽銀行単体

	平成26年9月期 実績	平成27年9月期 実績	平成30年3月期 計画
規 模	預金等残高(譲渡性預金含む末残)	3兆7,260億円	4兆2,300億円以上
	貸出金残高(末残)	2兆6,236億円	2兆8,400億円以上
	投資信託残高(末残)	1,768億円	2,900億円以上
収益性	実質業務純益(コア業務純益+債券関係損益)	83億円	170億円以上
	当期純利益(連結ベース)	58億円	100億円以上

創立120周年記念事業

120th Anniversary

紀陽銀行は平成27年5月2日に創立120周年を迎えました。これまで育てていただいたお客さま、株主の皆さま、地域の皆さまに感謝の思いを込めて、120周年記念事業を展開しています。



「紀陽コンサート」大盛況

平成27年
9月

地域の皆さまにクラシック音楽の魅力をおとどけしている「紀陽コンサート」。今回は紀陽銀行創立120周年・紀陽文化財団創立20周年を記念した特別公演として、9月5日と6日、岸和田市と和歌山市の2会場において開催いたしました。指揮・飯森範親氏、ヴァイオリン・神尾真由子氏・日本センチュリー交響楽団をお迎えしたコンサートは、両会場合わせて約2,600名のお客さまにご来場いただきました。



「世界遺産登録応援定期預金～百舌鳥・古市古墳群～」第2弾の取扱い

平成27年
11月～

世界遺産登録を目指す百舌鳥・古市古墳群。地域の皆さまとともに世界遺産登録に向けた機運を盛り上げるため、4月27日より「世界遺産登録応援定期預金」の取り扱いを開始いたしました。この商品は、お客さまよりお預け入れいただいた総額の0.01%相当額を、堺市世界文化遺産登録推進基金に寄付させていただくものとなっております。第1弾はご好評をいただき、募集総額到達の後に取り扱いを終了。残念ながら、7月に開催された国の文化審議会において、今回の国内推薦資産としての選定は見送られましたが、当行は引き続き百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を応援してまいります。

※募集総額200億円に到達次第取扱終了



「子供通帳」の取扱い

平成27年
4月～

4月1日より、「子供通帳」の取扱いを行っております。「子供通帳」は、お子さま名義の普通預金口座をご開設いただいたお客さまに、お子さまの写真をプリントしたオリジナル通帳を作成させていただくサービスであり、ご好評をいただいております。

※先着5,000名さまに到達次第取扱終了



「120周年定期預金」第2弾の取扱い

平成27年
11月～

4月から9月まで取扱いを行い、ご好評をいただいた「120周年定期預金」。その第2弾を11月2日より取扱い開始いたしました。「スーパー定期」の店頭表示金利に0.12%を上乗せした特別定期預金で、抽選でカタログギフトのプレゼント特典も設けております。

※募集総額200億円に到達次第取扱終了



その他の記念事業

- ◆「プレ120周年定期預金」の取扱い
- ◆「紀陽創業者支援ローン」の創設
- ◆「コブクロ」ライブ ペアチケットプレゼント
- ◆「さかい利晶の杜」観光セットプレゼント
- ◆「紀の国わかやま国体・大会」ボランティア参加
- ◆女性行員の制服を刷新
- ◆「120年史」の発行

平成27年秋、当行の地元和歌山県でスポーツの一大イベントが開催されました。紀陽銀行は地域の皆さまとともに参加・運営・PRなどに務め、今回の大会を力いっぱい盛りあげました。

9月26日から10月6日まで行われた「2015紀の国わかやま国体(第70回国民体育大会)」そして10月24日から10月26日まで行われた「2015紀の国わかやま大会(第15回全国障害者スポーツ大会)」今回、和歌山県選手団は健闘し、「紀の国わかやま国体」では男女総合優勝に輝き「天皇杯」を獲得、また女子総合成績の「皇后杯」においても第2位という素晴らしい成績を収めました。

来年は岩手県において、「希望郷いわて国体」「希望郷いわて大会」が開催される予定です。



大会マスコット「きいちゃん」

オフィシャルスポンサーとして 運営を全力サポート

今回、紀陽銀行は、地域貢献活動の一環として「紀の国わかやま国体・大会」のオフィシャルスポンサーという大役を担い、一丸となって大会の実施・運営に協力いたしました。

ボランティア参加

両大会のボランティア要員として本部主導、営業店個別を合わせて約560名の行員が参加。開催前の機運醸成や美化活動、式典・競技会当日の運営サポートなどを行いました。



「おもてなし大清掃」に参加

両大会の開催に先立ち、和歌山市主催の清掃活動に参加。県外から来られる方々をきれいな街でおもてなしするために、行員約350名が和歌山城内の清掃に取り組みました。

「きいちゃんブース」への出店

両大会期間中、開・閉会式会場である紀三井寺公園内にて地元企業が和歌山県の魅力を発信するブースを展開。紀陽銀行も出店し、1億円の重さ体験コーナーを設けるなど、来場者の皆さまにお楽しみいただきました。



「募金付きピンバッジ」の着用

大会マスコット「きいちゃん」をあしらった募金グッズであるピンバッジを購入し、和歌山県内の全役職員が約3年間にわたり着用。イベントの機運醸成に協力しました。

「紀陽きいちゃん定期預金」の取扱い

大会を盛り上げる商品として、平成26年夏のボーナスシーズンに、「きいちゃん」のオリジナルグッズを景品とした特別金利の定期預金「紀陽きいちゃん定期預金」の取扱いを行いました。



**紀陽銀行からも
国体に出場、
大健闘しました。**



「紀の国わかやま国体」には当行からも多数の選手・監督が出場しました。女子バスケットボール競技に出場した「紀陽ハートビーツ」は、惜しくも初戦敗退となりましたが、日頃の練習の成果とたくさんの声援を糧に全力プレーで挑みました。また、女子ホッケーに2名、女子バドミントンに2名、女子ハンドボールに1名が選手として出場し、女子アーチェリーには監督として1名が出場、総合成績に貢献しました。

2015
Apr.

4月

公的補助金活用説明会・ 公的支援策活用説明会の開催

4月6日に大阪府内の中小企業向け「公的補助金活用説明会」を、また9日に和歌山県内の中小企業向け「公的支援策活用説明会」を開催いたしました。大阪府・和歌山県等の諸施策をはじめ、新製品開発や販路開拓などに活用可能な支援策についての説明がありました。説明会終了後には個別相談会も実施。当行のお取引先を含む多くの皆さまにご参加をいただきました。



「紀陽オーナー300」の 取扱い開始

4月10日より「紀陽オーナー300」の取扱いを開始いたしました。「紀陽オーナー300」は、事業を営まれているお客さまを対象とした無担保フリーローンであり、消費性資金、事業性資金のいずれにもご利用いただける簡便性と、審査スピードの早さを特長としています。

今後も、お客さまのニーズに合致した満足度の高い商品をおとどけてまいります。

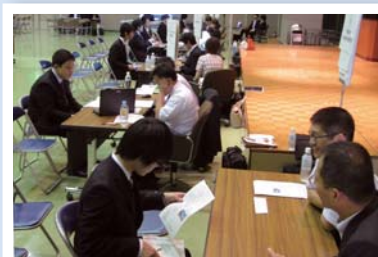


2015
Jun.

6月

近畿大学・和歌山大学にて 「合同企業説明会」を開催

6月12日、提携先である近畿大学において、生物理工学部生を対象に合同企業説明会を開催いたしました。当行のお取引先18社が参加され、卒業予定の学生の方々と面談されました。また、7月8～10日、13・14日の5日間にわたり、和歌山大学において開催された合同企業説明会には、当行のお取引先を含む52社が参加され、延べ100名を超える学生の方々に向けて企業PRをされました。今後も地元企業の人材確保支援に向けた取り組みを進めてまいります。



「クラウドファンディング 紹介業務」の取扱い開始

6月25日より、ミュージックセキュリティーズ株式会社との提携により、クラウドファンディング^(※)紹介業務の取扱いを開始いたしました。これは、地方創生に向けた事業性分野の取り組みの一つであり、地域の特色ある資源や地場製品を取扱っておられる事業者さまに対して、新たな資金調達の手段をご紹介しますサービスです。インターネット上で個人投資家から出資を募るとともに、事業者さまの商品やサービスの“ファン”づくり、販路拡大等にご活用いただけます。

※事業者が個別にファンドを組成してインターネット上で不特定多数の投資家から事業資金等を小口調達する「マイクロ投資プラットフォーム」などを指す。

2015
Jul.

7月

岸和田支店が
新築移転オープン

7月13日、岸和田支店が新築移転オープンいたしました。新店舗は広くゆったりとしたロビーに、プライバシーに配慮した対面式カウンターや簡易応接室を増設、店舗2階には地域への情報発信の場となるセミナールームを設け、駐車場もよりご利用いただきやすくなりました。

2015
Aug.

8月

「創業支援セミナー
inわかやま」の開催

8月22日、和歌山ビッグ愛にて「創業支援セミナーinわかやま」を開催いたしました。本セミナーは、創業に関心をお持ちのお客さまに向けて、事業立ち上げの基礎知識や実際に起業された方の講演など、具体的な情報のご提供とサポートを行うものです。総勢75名の方に参加をいた

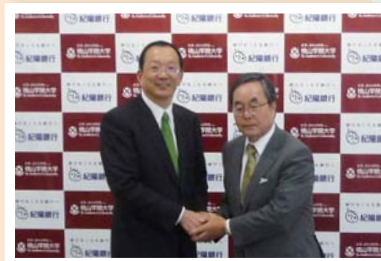
だき、個別相談会のほか、パネルディスカッションや参加者交流会も行われるなど、有意義な時間を過ごしていただきました。

2015
Sep.

9月

桃山学院大学との
「連携協力に関する
協定」の締結

9月7日、桃山学院大学と「連携協力に関する協定」を締結いたしました。この協定締結によって、合同企業説明会やインターンシップ受入企業の紹介、新商品・新サービスの学生モニタリング協力、観光分野や地域ブランドの開発についての連携、取引先企業の経営相談についての連携などが推進されます。今後、当行と桃山学院大学は、情報やノウハウの共有によって連携をさらに強め、地域経済の活性化に貢献してまいります。

大規模災害時の金融機関の
相互支援に関する協定の締結

「南海トラフ巨大地震」や「東海・東南海・南海3連動地震」などによる大規模災害の発生時に備えて、金融機能を維持するための実効的な対策が必要とされています。そのような中、9月30日、当行を含む近畿の地銀7行は「大規模災害時の相互支援に関する協定」を締結し、被災地域における金融機能の維持、早期復旧などについての協力体制の確立を図りました。また、これに先立つ4月1日には、当行を含む和歌山県を主な営業基盤とする4金融機関による「大規模災害時における和歌山県内金融機関の相互支援に関する協定」を締結しており、大規模災害発生時には相互に支援を行うことといたしました。

地域密着型金融の取り組み

地域金融機関として、法人・個人事業主の皆さまへの支援と地域経済発展をサポートする取り組みを行っています。

経営改善のサポート

当行では「経営サポート室」を設け、経営改善に取り組まれている企業をお手伝いしています。経営改善計画策定のサポートから事業再生支援のための融資取り組みまで、民間コンサルタントや中小企業再生支援協議会などの外部機関と連携し、支援体制の強化に努めています。



海外ビジネス活動のサポート

中小企業の皆さまの海外進出に関するコンサルティング窓口として、「グローバル・サポート・デスク」を設置しています。コンサルティング会社などの外部専門家との提携により商談会や個別相談会を開催し、現地の市場情報のご提供やお取引先へのニーズに応じた海外販売ルート、パートナー企業のご紹介などを行っています。また、海外の有力金融機関との業務提携によって現地での資金調達のサポート体制を確立。国際協力銀行（JBIC）との連携によるクロスボーダーローン等、海外向けファイナンスの支援体制なども整えています。



事業承継のサポート

後継者の確保にはじまる円滑な事業承継は、中小企業経営者の皆さまにとって重要な課題です。また資産相続には、法的な知識や財産運用に関わる事前の準備が必要です。当行ではこれらの課題解決サポートのための「事業承継セミナー」を毎年開催。多数の事例による具体的なレクチャーにより経営者の皆さまにご好評をいただいております。



NEWS

「わかやま地域活性化ファンド」 第1号案件の投資を実行

当行では、地方創生に向けた取り組みの一環として「わかやま地域活性化ファンド（正式名称：わかやま地域活性化投資事業有限責任組合）」を通じた観光関連の事業への支援を行っています。株式会社地域経済活性化支援機構と連携し、この取り組みを行っており、10月16日、その第1号案件として「加太まちづくり株式会社」への投資を実行いたしました。同社では、海水浴場運営や特産品販売などにより、加太地域の知名度向上、活性化を目指します。当ファンドにより、今後も地域経済の活性化と雇用創出に貢献してまいります。

地方自治体や教育機関、民間企業の皆さまと連携しながら、地方創生のためのさまざまな施策を展開しています。

「地方創生推進プロジェクトチーム」の始動

国家プロジェクト「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、全国の地方自治体では地方創生のための「地方版総合戦略」を策定することとなり、地域金融機関の知見やネットワークを活用したサポートが期待されています。紀陽銀行では4月より「地方創生推進プロジェクトチーム」が始動。初動的な取り組みとして「地方版総合戦略」策定にあたっての自治体へのヒアリングなどの情報収集・分析を中心とした活動を行いました。今後も産官学との連携を強め、活動を本格化してまいります。

「紀陽イノベーションサポートプログラム」の実施

9月1日より、地域の事業者の研究開発を支援する「紀陽イノベーションサポートプログラム」を実施いたしました。新しい事業展開を目指して大学や研究機関と共同研究に取り組む事業者の皆さまから「研究開発テーマ」を募集し、革新性・市場性・実現可能性等について評価を行い、優れたテーマに対して専門家による事業計画の策定や研究奨励金の分割支給等多面的な支援を行うものです。

「創業者支援総合スキーム」の取扱い

4月27日より「創業者支援総合スキーム」の取扱いを開始いたしました。「紀陽創業者支援ローン」および日本政策金融公庫との協調融資の取扱い、さらに和歌山県と和歌山市中小企業融資制度による創業関連資金の低金利融資の取り組みの総称で、地域の創業者または創業を目指す方に対し、総合的なサポートを行います。

「地方自治体と連携した住宅ローン」の取扱い

9月より「地方自治体と連携した住宅ローン」の取扱いを開始いたしました。これは地方自治体が推進する移住・定住促進活動を金融商品の面から支援するものです。当行の営業エリアである和歌山県、大阪府泉佐野市、奈良県五條市の各地域において、移住・定住を考えておられるお客さまに向けて、金利引下げ幅を拡大した住宅ローンをご提供しております。

※金利引下げ幅はお申し込み内容等により個別に決定いたします。

NEWS

みずほ銀行と「和歌山県の地方創生に関する協定」を締結



10月16日、みずほ銀行と「和歌山県の地方創生に関する協定」を締結いたしました。当行とみずほ銀行は平成26年に共同で紀陽6次産業化ファンドを立ち上げるなど、これまでも連携して地方創生に取り組んでおり、今回の協定締結によって和歌山県の地域活性化に向けた取り組みを一層推進していきます。具体的には、両行のネットワーク活用による県内事業者の方々へのビジネス支援や、地域経済活性化に関する両行の各種知見交換などを行ってまいります。

新しい社会環境への対応のために

地域社会の安心・安全や従業員のワークスタイルなど、時代の変化にあわせた積極的で柔軟な取り組みを行っています。

BCP(事業継続計画)の推進

紀陽銀行の営業エリアである和歌山県・大阪府は「南海トラフ巨大地震」や「東海・東南海・南海3連動地震」により甚大な被害が予想されている地域であり、本格的な災害対策や、BCP(事業継続計画)が急務とされています。当行では、主要店舗における災害時に備えた自家発電機の設置や、全行員を対象とした「防災ハンドブック」の配布といった施策等を推進しています。また行内の対応にとどまらず、和歌山県内の他の金融機関および近畿の他の地方銀行と連携し、大規模災害時における被災地の金融機能の維持、早期復旧などについての相互支援に関する協定をそれぞれ締結しています。

一方、お客さま向けの取り組みとして「大規模地震対応模擬訓練」を実施しており、企業や地方自治体のご担当者をはじめ、多くの皆さまにご参加をいただいております。

また、地域事業者の皆さまのBCP策定費用や耐震建物への建て替え、避難施設の建築にかかる費用などを支援する「南海トラフ地震対策ローン」の取扱も行っております。



大規模地震対応模擬訓練

ダイバーシティの推進

ダイバーシティ(diversity)とは、性別など従業員それぞれの違いを尊重し、積極的に活かすことで企業価値を向上させる取り組みです。当行では、かねてより女性の積極的登用をはじめとする「ポジティブ・アクション」を推進し、仕事と育児の両立支援、仕事と家庭の調和がとれたワーク・ライフ・バランスの推奨などに努めてきました。このような取り組みに対して、厚生労働省主催の「均等・両立推進企業表彰」において和歌山労働局長優良賞を受賞。また、「子育てサポート企業」としての認定を受けて



「くるみんマーク」を取得しています。

平成27年1月、人事部内に「ダイバーシティ推進室」を設置し、このような取り組みをより一層加速させています。3月には、結婚・配偶者の転勤等を理由に退職した行員の再就職を支援する「地銀人材バンク」に参加いたしました。また7月には、保育料補助手当を新設するとともに、育児・介護のための短時間勤務制度をより利用しやすくするよう、制度の一部改定を実施いたしました。



お客さまに安心してご利用いただけるよう、さまざまな取り組みを行っています。

特殊詐欺被害の未然防止策を実施

近年増加しているオレオレ詐欺や還付金詐欺などの特殊詐欺による被害を未然に防止するため、積極的な取り組みを行っています。

和歌山県警察本部と大阪府警察本部の要請に基づき、5月より被害の未然防止強化のための110番通報体制を整えました。これは、ご高齢のお客さまから高額現金出金を申し受けた際に、ご出金の内容をお伺いし、和歌山県内の場合は原則的に110番通報を、その他の府県の場合は内容に応じて110番通報を行うというものです。

また、店頭では特殊詐欺被害の防止を啓発するDVDを放映するとともに、ポスター等によりお客さまへの注意喚起を行っております。併せて、ATMコーナーに誘導する手口が多い振り込め詐欺対策として、ATM画面上でも注意メッセージを表示しております。



バリアフリーへの取り組み

紀陽銀行では、お客さまに安心してご利用いただけるよう、ハード・ソフトの両面においてバリアフリーに向けた取り組みを行っています。

ハード面として、すべてのATMに音声案内装置付きの受話器型附属機器を設置しており、目の不自由な方にもテンキーの操作によりご利用いただくことができます。他にも、残高やお取引明細などの点字通知サービスを実施しております。

また、耳マーク表示板とコミュニケーションボードを全店に設置しており、耳が不自由な方にも安心してご利用いただける環境を整えています。



コミュニケーションボード

一方、ソフト面における取り組みの一つとして、「認知症サポーター」の養成に努めています。

高齢化社会が進展するなかで、行員が認知症に対する理解を深めることによって、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる社会に貢献したいと考えております。



耳マーク表示板



CSR活動

紀陽フィナンシャルグループでは、数々の社会貢献活動に取り組んでおります。

環境保全 への取り組み

美しい自然を
未来へのこす

和歌山県「企業の森」事業

紀陽銀行は、和歌山県が森林の環境保全を目的に実施している「企業の森」事業に平成18年より参画しています。毎年、行内にてボランティア参加者を募り、和歌山県日高川町の「紀陽の森」において森林の保全活動に努めています。



自然遺産を守り、
伝えていく

熊野古道の参詣道環境保全活動

和歌山県が誇る「世界遺産」である熊野古道は、台風や雨の被害にたびたび見舞われています。熊野古道の参詣道の傷みを修復し未来へのこすために、役職員参加のボランティアによる道普請（土の補充）を中心とした活動を続けています。

地域イベント への取り組み

地域みんなでヨイショ

和歌山県綱引選手権大会

毎年、県内各地から数百人が集まって開催されている「和歌山県綱引選手権大会」。当行はこのイベントに協賛、行員チームも試合に参加し、地域の皆さまとともに大会を元気に盛りあげています。



和歌山の夏をヒートアップ 紀州おどり

紀州の豪商・紀伊国屋文左衛門にちなんだ「紀州おどり」は和歌山市民に愛される夏の風物詩。当行からも、毎年多くの行員が参加しています。今年も総勢631名がおそろいの法被・浴衣姿で地域の皆さまとともににぎやかな夏の一日を過ごしました。

ボランティアで元気サポート

和歌浦バイマラソン with ジャズ

『紀陽銀行「小さな親切」の会』として、行員やその家族がボランティア活動に取り組んでいます。和歌山市に全国のランナーが集り毎年開催されている「和歌浦バイマラソン with ジャズ」の運営など、地域の行事をサポートしています。





芸術・文化・スポーツ を通じた取り組み

芸術による感動を地域に

一般財団法人紀陽文化財団

一般財団法人紀陽文化財団は、優れた芸術と文化の普及による豊かな地域社会の創造を目指して平成7年に設立されました。同財団では、地域の皆さまにさまざまな文化イベントをご案内しており、毎年著名な指揮者や演奏家を招いて開催している「紀陽コンサート」もその一つです。また、和歌山県立近代美術館・博物館と連携し、特別展などへ無料ご招待も実施しております。



スポーツの楽しさを子どもたちへ…

バスケットボールクリニック(ジュニアへの指導)

今年「紀の国わかやま国体」にも出場した紀陽銀行の女子バスケットボール部「紀陽ハートビーツ」は、地元の小中学生を対象としたバスケットボールクリニック(ジュニアへの指導)を展開しています。スポーツの楽しさをわかちあい、地域に愛されるチームとしてこれからもがんばってまいります。



地域の金融教育 への取り組み

現場の経験・知見を活かす

和歌山大学、和歌山高専での講義

和歌山県が展開している「産業人材育成支援事業」の一環として、和歌山大学において当行役員が「和歌山企業トップ経営論」の講義を行っております。また、和歌山工業高等専門学校でも行員が講義を行うなど、現場の経験と知見を活かした経済学を発信しています。



高校生にお金の基本をレクチャー

金銭基礎教育授業「MoneyConnection®」

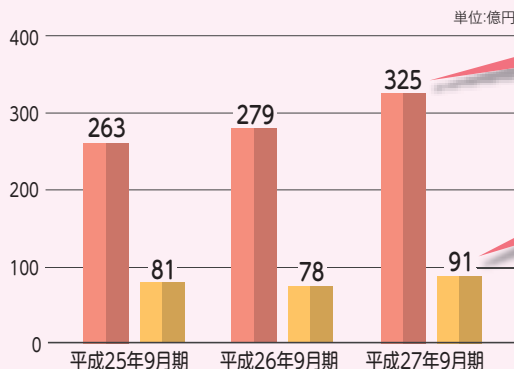
地域の未来をになう若い世代への金融教育の一環として、金銭基礎教育授業「MoneyConnection®」に協賛しております。「MoneyConnection®」の公認実施団体である特定非営利活動法人キャリア・ファシリテーター協会と協力し、高校生を対象に認定講師による出張授業を行い、「働くこととお金」について学び、考える機会を提供しています。



業績ハイライト

貸出金利息は貸出金利回りの低下の影響を受け減少しましたが、役務取引等利益は前年同期比4億円の増加となりました。債券関係損益が37億円増加したため、業務粗利益は前年同期比46億円増加の325億円となりました。また、コア業務純益は前年同期比13億円増加の91億円となりました。

業務粗利益 コア業務純益



業務粗利益 (単体)

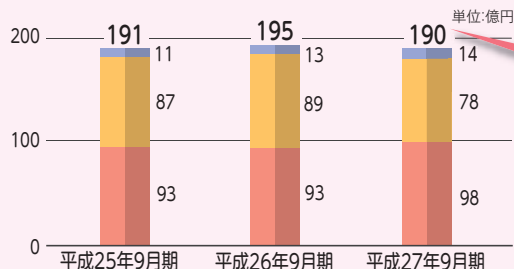
325億円

コア業務純益 (単体)

91億円

経費については、物件費が減少し経費全体で前年同期比5億円減少の190億円となりました。

税金 物件費 人件費

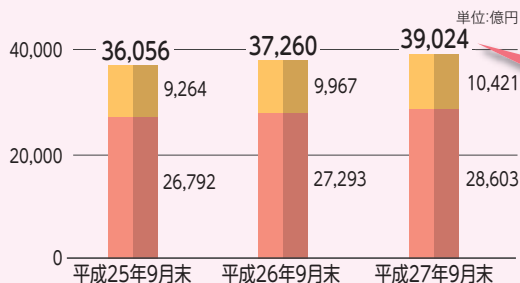


経費

190億円

預金等残高は個人預金とその他預金ともに増加し、前年同期末比1,764億円増加の3兆9,024億円となりました。

その他 個人

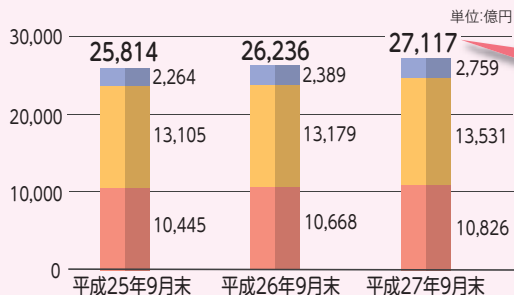


預金等残高 (単体)

3兆9,024億円

貸出金残高は、前年同期末比881億円増加の2兆7,117億円となりました。

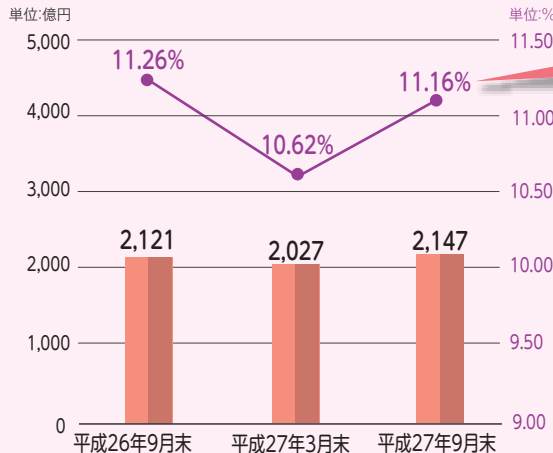
その他 大阪府 和歌山県



貸出金残高 (単体)

2兆7,117億円

平成26年3月末より新たな自己資本比率規制(バーゼルⅢ)を適用しており、自己資本額(連結)は2,147億円となり、自己資本比率(連結)は11.16%となりました。



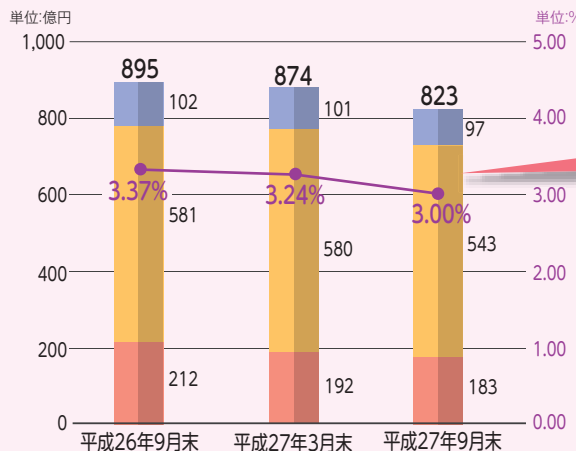
自己資本比率(連結)

11.16%

自己資本比率(単体)

10.82%

不良債権残高は前期末比51億円減少し、823億円となりました。不良債権比率については、前期末比0.24%低下し、3.00%となりました。不良債権額823億円のうち、83.4%は、担保や引当金等で保全されています。



不良債権比率

3.00%

用語解説

■要管理債権

3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

■危険債権

債務者は経営破綻の状態に至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権

■破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

■外部格付

外部格付とは、第三者の格付機関が、銀行や企業の「安全度」をランク付したものです。

紀陽銀行では、株式会社日本格付研究所(JCR)と株式会社格付投資情報センター(R&I)から格付上位のAランクを取得しています。

外部格付

A (JCR)

A- (R&I)

財務諸表

紀陽銀行(連結)

第206期中 中間連結貸借対照表

(平成27年9月30日現在)

単位:百万円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	440,647	預金	3,826,739
コールローン及び買入手形	6,919	譲渡性預金	60,386
買入金銭債権	799	債券貸借取引受入担保金	91,918
商品有価証券	352	借入金	99,376
有価証券	1,140,995	外国為替	39
貸出金	2,704,308	社債	20,000
外国為替	5,075	その他負債	42,397
その他資産	22,408	退職給付に係る負債	26
有形固定資産	35,951	役員退職慰労引当金	32
無形固定資産	5,563	睡眠預金払戻損失引当金	763
退職給付に係る資産	18,641	偶発損失引当金	562
繰延税金資産	1,126	繰延税金負債	6,487
支払承諾見返	10,636	支払承諾	10,636
貸倒引当金	△ 24,712	負債の部合計	4,159,366
		(純資産の部)	
		資本金	80,096
		資本剰余金	6,941
		利益剰余金	87,957
		自己株式	△ 3,571
		株主資本合計	171,424
		その他有価証券評価差額金	25,928
		退職給付に係る調整累計額	8,959
		その他の包括利益累計額合計	34,887
		新株予約権	7
		非支配株主持分	3,029
		純資産の部合計	209,348
資産の部合計	4,368,714	負債及び純資産の部合計	4,368,714

第206期中 中間連結損益計算書

(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
経常収益	46,695
資金運用収益	27,808
(うち貸出金利息)	(18,697)
(うち有価証券利息配当金)	(8,907)
役務取引等収益	6,230
その他業務収益	6,928
その他経常収益	5,727
経常費用	28,441
資金調達費用	2,128
(うち預金利息)	(1,577)
役務取引等費用	2,143
その他業務費用	2,203
営業経費	20,525
その他経常費用	1,440
経常利益	18,253
特別利益	18
固定資産処分益	18
特別損失	184
固定資産処分損	57
減損損失	127
税金等調整前中間純利益	18,087
法人税、住民税及び事業税	3,861
法人税等調整額	1,492
法人税等合計	5,353
中間純利益	12,733
非支配株主に帰属する中間純利益	12
親会社株主に帰属する中間純利益	12,720

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結子会社

- ・ 紀陽ビジネスサービス株式会社
- ・ 株式会社紀陽カード
- ・ 阪和信用保証株式会社
- ・ 株式会社紀陽カードディーシー
- ・ 紀陽リース・キャピタル株式会社
- ・ 紀陽情報システム株式会社

紀陽銀行(単体)

第206期中 中間貸借対照表

(平成27年9月30日現在)

単位:百万円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	440,457	預金	3,833,056
コールローン	6,919	譲渡性預金	69,386
買入金銭債権	799	債券貸借取引受入担保金	91,918
商品有価証券	352	借入金	99,376
有価証券	1,143,453	外国為替	39
貸出金	2,711,756	社債	20,000
外国為替	5,075	その他負債	33,200
その他資産	9,046	役員退職慰労引当金	32
有形固定資産	36,551	睡眠預金払戻損失引当金	763
無形固定資産	4,694	偶発損失引当金	562
前払年金費用	5,460	繰延税金負債	2,206
支払承諾見返	10,636	再評価に係る繰延税金負債	124
貸倒引当金	△ 21,045	支払承諾	10,636
		負債の部合計	4,161,304
		(純資産の部)	
		資本金	80,096
		資本剰余金	5,284
		資本準備金	259
		その他資本剰余金	5,024
		利益剰余金	84,983
		利益準備金	4,599
		その他利益剰余金	80,384
		繰越利益剰余金	80,384
		自己株式	△ 3,571
		株主資本合計	166,793
		その他有価証券評価差額金	25,786
		土地再評価差額金	265
		評価・換算差額等合計	26,051
		新株予約権	7
		純資産の部合計	192,852
資産の部合計	4,354,156	負債及び純資産の部合計	4,354,156

第206期中 中間損益計算書

(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
経常収益	43,123
資金運用収益	27,765
（うち貸出金利息）	(18,702)
（うち有価証券利息配当金）	(8,860)
役務取引等収益	5,046
その他業務収益	4,739
その他経常収益	5,571
経常費用	24,362
資金調達費用	2,128
（うち預金利息）	(1,577)
役務取引等費用	2,448
その他業務費用	429
営業経費	18,632
その他経常費用	722
経常利益	18,761
特別利益	18
特別損失	184
税引前中間純利益	18,594
法人税、住民税及び事業税	3,655
法人税等調整額	1,563
法人税等合計	5,218
中間純利益	13,376

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

役員一覧

(平成27年9月30日現在)

取締役会長(代表取締役)	片 山 博 臣	取締役	竹 中 義 人	監査役(非常勤・社外監査役)	松 川 雅 典
取締役頭取(代表取締役)	松 岡 靖 之	取締役	日 野 和 彦	監査役(非常勤・社外監査役)	大 平 勝 之
専務取締役	成 田 幸 夫	取締役	明 樂 泰 彦	監査役(非常勤・社外監査役)	山 野 裕
常務取締役	島 慶 司	取締役(社外取締役)	水 野 八 朗		
常務取締役	爲 岡 英 喜	監査役(常勤)	樋 口 勝 二		
常務取締役	今 村 裕 一	監査役(常勤)	北 山 隆 一		

(平成27年9月30日現在)

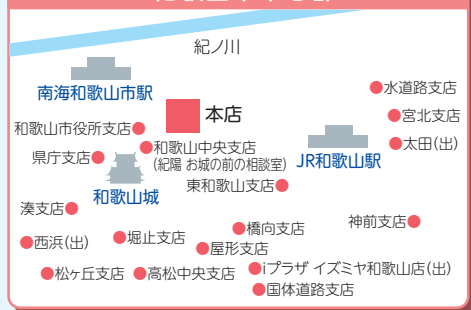
紀陽銀行は、主要営業エリアである和歌山県、大阪府を中心に109店舗を設置し、両府県にまたがる店舗ネットワークを展開しております。

	店舗数	店舗外ATM
和歌山県	68	115
大阪府	38	47
奈良県	2	1
東京都	1	—
三重県	—	1
合計	109	164

(インターネット支店含む)

※このほか、資産運用に関するコンサルティングデスク「紀陽 お城の前の相談室」、インスタブランチ「プラザ イズミヤ和歌山店出張所」、外貨両替専門の「関西国際空港出張所」、住宅ローンセンター(9カ所)、ビジネスサポートセンター(本店内)を開設しております。

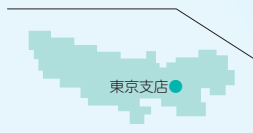
和歌山市中心部



(出):出張所

株式会社 紀陽銀行

- | | | |
|----------|---|---|
| ◆設立 | 日 | 明治28年5月2日 |
| ◆所在地 | | 和歌山市本町1丁目35番地 |
| ◆資本金 | | 800億96百万円 |
| ◆店舗数 | | 109店
(和歌山県68ヵ店、大阪府38ヵ店)
奈良県2ヵ店、東京都1ヵ店 |
| ◆従業員数 | | 2,413名(出向者を除く) |
| ◆上場証券取引所 | | 東証第一部 |



■発行済株式総数

普通株式 73,399,948株

■株主総数

普通株式 19,265名

■配当方針

利益配分につきましては、銀行の公共性に鑑み、経営の健全性を確保するための適正な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を実現することを基本方針としています。

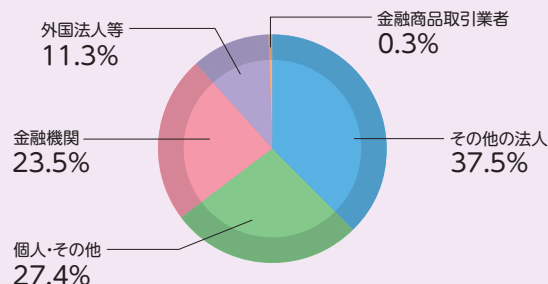
■株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

■株式事務取扱場所

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話無料)

■所有者別株式分布 (平成27年9月30日現在)



■大株主の状況

氏名又は名称	持株数等(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,061	2.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,836	2.56
紀陽フィナンシャルグループ従業員持株会	1,799	2.51
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,467	2.04
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,200	1.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,150	1.60
株式会社 湊組	1,043	1.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	851	1.18
株式会社島精機製作所	839	1.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	800	1.11

- (注) 1. 持株数等は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2. 当行は、自己株式1,816,857株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
また、持株比率は自己株式を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

株式に関する各種手続き

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更につきましては、口座開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部)へ届け出ください。

単元未満株式をお持ちの皆さまへ

1単元(100株)未満の株式を保有されている株主さまは、保有株式の買い取り請求または単元株への買い増し請求をしていただくことができます。詳細につきましては、上記〈株式事務取扱場所〉までお問い合わせください。
(追記) なお、お手続きに必要な書類等については、下記のホームページにお入りいただき、検索することができます。

〔三菱UFJ信託銀行HP <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>〕

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。



銀行をこえる銀行へ

紀陽銀行

株式会社 紀陽銀行

平成27年12月発行

経営企画部 広報・CSR推進室

〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地

TEL.073-426-7133

<http://www.kiyobank.co.jp/>

表紙写真：宝泉寺の大銀杏(田辺市中辺路町)

中辺路町福定地区宝泉寺にある大銀杏の木。周囲約6m、高さ約22m、樹齢推定400年以上という大樹で町の天然記念物に指定されています。周囲の緑や紅葉の中でその黄金色はひと際見事なコントラストを演出します。黄色の落ち葉で敷き詰められた境内から見上げる風景も必見です。